



学校報「二中の木」



令和5年8月28日（月）
第8号 文責：校長 工藤 真弘
TEL：52-5138

二中若：情熱とパワーが更にアップ

8／2（水）の天空の不夜城に、二中若が登場しました。昨年は、全ての生徒にとって初めての経験でしたが、今年は、昨年の経験値を生かした2、3年生が中心になってパワーアップした二中若を運行することができました。後日、齊藤市長はじめ、たくさんの方々から賞賛のお言葉をいただきました。



パワーアップしたのは、生徒だけではありません。PTAや地域の方々の協力も昨年より充実しました。今年は、おなごりフェスティバルに二中が参加していた時からお世話になっていた畠新若の方々から、実技練習や当日の運行など、全面的にご協力をいただきました。PTAの方々には太鼓等の運搬、水分補給や健康管理、交通整理など、多くのご協力をいただき、円滑な運行、安心した運行ができました。心より感謝いたします。

「地域の一員として、地域の方々と一緒に、地域を創る」生徒を育てるのが本校の学校経営の柱です。天空の不夜城だけでなく、大人になっても役七夕に参加しながら伝統文化を受け継いでいく人材の育成です。将来、地元に残っていたらもちろん、県外にいても七夕の時期に合わせて帰省して参加する、そんな未来を思い描いてほしいと思います。実際、昨年と今年の二中若を通して、役七夕に参加する生徒が増えてきているのは、嬉しいことです。



技術指導は地域人材

正しい技術習得のため、笛は広幡清香さん、太鼓は大高康夫さんと畠新若の皆さん、音頭上げは原田真吾さんにお願いしました。

科学技術高校の協力で田楽にLED

昨年、科学技術高校のご厚意で、本校の田楽に、生徒が製作したロウソクタイプのLEDを装着していました。燃える心配がない分、今年も安心して田楽のパフォーマンスができた。





台車周りの安全運行に畠新若

灯籠の安全運行の要、台車の舵取り、綱もとなど、経験値が必要な箇所には、今年も畠新若の方々に協力いただきました。

また、役七夕での余興的な太鼓のたたき方も教えていただきました。



パワー全開：東北の夏祭りの象徴

交通安全見守りに民生委員・児童委員

～ 今年は交通安全協会も ～

学区の児童民生委員の方々に、生徒が帰宅する際、担当地区の交通安全の見守りをしていただきました。また、今年は学区の交通安全協会の方々にも見守りをしていただきました。この方々には他の行事でもたくさんお世話になっております。

2学期始業式：校長挨拶より抜粋

二学期は、心を豊かにする、勉強にしっかりと向かって力を付ける期間です。

3年生の皆さん、4月に行った全国学力・学習状況調査、マスコミは全国学力テストと呼んでいますが、覚えているでしょうか。二中の3年生は、今年も秋田県の中学生の平均を、国語、数学、英語すべて上回りました。さすがです。

しかし、私がもっとうれしかったのは、一緒に行つたアンケートの結果です。秋田県の子どもは心の豊かさが、ずっと全国トップレベルです。二中の3年生は、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」「人が困っているときは進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会を善くするために何かしてみたい」といった心の豊かさについても秋田県の平均を上回っていることです。特に「人の役に立つ人間になりたい」と思っている生徒は100%でした。

「勉強は大切だ」「授業に主体的に向かう、考える、学び合う」といった授業に向かう姿勢もトップレベルです。心の豊かさが全国トップレベルの中のトップレベルというのは、心から誇りに思うことです。去年の3年生も心の豊かさトップレベルでした。

1、2年生の皆さん、6月に二中で行った学習アンケートでは、皆さんも心の豊かさトップレベルというすばらしい結果でした。これは二中の伝統として、全員の誇りとしてほしいと思います。

これだけ、素晴らしい力をもっている二中生ですので、もうひとがんばりしてほしいところがあります。家庭学習の時間です。まずは今の家庭学習を30分多くがんばってください。そのために、決まった時間に寝ること起きることから始めてください。3年生は放課後の時間をうまく使えるので、更に時間を増やせるはずです。自分の未来を創り出すための勉強です。皆さんの力を信じています。

ところで、1学期、皆さんが創り出した新しい校則のお試し期間が10月末まででしたよね。自分たちで創ったきまりを自分たちでしっかりと守る、誇り高き二中生の誇り高い校則として、皆さんの中に根付くことを期待しています。